

# 京浜急行電鉄(株)事故資料展示室・鉄道乗務員育成所 ・神奈川新町駅信号扱所・新町乗務区施設見学

令和 5(2023)年12月14日(木)、医療安全対策委員会メンバーが京浜急行電鉄(株)の施設を見学しました。

京浜急行電鉄は神奈川県と東京都を結ぶ路線で、駅間が短く身近に駅がたくさんあり、赤い電車として日頃から親しまれています。今回は身近な京浜急行電鉄での「安全」への取り組みについてご紹介します。



## 【事故資料展示室】

同じような鉄道事故を2度と繰り返さないために2008年12月に社員専用の教習室として開設されました。残念ながら一般には公開されていませんが、過去の事故写真や詳細を記載したパネルが展示され、関係者からの臨場感あふれる体験談の映像を見ることができました。時間の経過と共に失われる危機感や教訓を伝承し、職員全員が事故を起こさない決意と起きた場合の対応について学びます。

2019年9月5日11時43分、神奈川新町駅近くの踏切で大型トラックとの衝突脱線事故が発生しました。11時50分には事故対策本部が立ち上がり、11時52分消防隊が到着。駅も近かったことから、乗客の誘導もすみやかに行われました。日頃からの関係機関との調整により、傷病者のトリアージは横浜市立大学附属病院より救急医が派遣されました。その後、同社では、対策会議を開催し、事故防止の為に発光信号機の増設、非常ブレーキのルール変更、大型車両の進入抑制看板の設置要請などが実施されました。起きてしまった事故を振り返り、再発防止に真摯に取り組む姿勢や仕組みは素晴らしいと思います。

## 【鉄道乗務員育成所】

電車を運転するには国家資格が必要ですが、その養成は国からの指定を受けた鉄道会社の養成所によって行われています。しかし、入社してすぐに運転士になれるわけではありません。同社の場合、入社後は駅に配属されます。次に車掌、運転士とキャリアアップをしていくことで全体の動きを知りつつ仕事ができるようになります。

育成所の見学では、実物の車両と同じ運転室と車掌室で映像を確認しながらシミュレーターの体験をしました。車掌体験では安全を確認しドアの開閉を行いました。皆さんは電車のドアの開閉は手動で行っていることをご存じですか？自動ドアではないので、物や人が挟まってもドアは自動には開きません。すべて車掌さんが開けてくれたのです。出発時の安全確認は、目視だけでは不足する情報をホーム上の表示灯や監視カメラなどを活用し、視認性の向上を図り、安全の最終確認は車掌によって実施されています。電車が動き始めた時からホームを離れるまで、非常ブレーキスイッチを握りながら、ホームに異常があればいつでも止められる体制で安全確認をしています。利用する立場としても、黄色線の内側を歩く、歩きスマホはしない、ホームドアには寄りかからないなどを守ることが大切だと思いました。

運転士の体験では、シミュレーターを見学させていただきました。何かあっても電車は急に止まれないことや線路から外れて避けることはできないことを実感し、日頃からの安全確認がとても重要だと思いました。

## 【新町乗務区】

京浜急行電鉄では3か所の乗務区があり、そのうちのひとつである新町乗務区には約300名の運転士と車掌が在籍しています。部屋への出入り時には、全体に聞こえるように業務開始・終了の挨拶を励行されており、業務に対する緊張感を感じました。備品は決められた場所に整然と置かれ、服装もとてもきちんとしていました。体調管理は徹底しており、急な体調不良に備え、常に勤務交代できる体制が整っていました。また、ヒヤリハットがあった際の投函箱を用意しており、1日の最後に区長や助役が確認しています。

## 【神奈川新町駅信号扱所】

ポイント操作、信号操作、発車合図等を運転士経験のあるベテランが手動で行っています。今後はデジタル化されていく方向ですが、手動のメリットは臨機応変の対応がしやすいとのことでした。京浜急行電鉄がトラブル時の復旧が速いのも納得しました。とても緊張感のある現場で、情報を得ながら信号を動かす時には常に指差し、声出しを実施していました。

京浜急行電鉄には見学日現在、車両が794両あり、神奈川新町は246両・45本の電車を管理しています。日常点検は全車両を7日から10日ごとに実施します。常に動いている電車を入れ替えながら点検するのは大変です。タイヤが乱れると点検する予定の電車が遠くに行ってしまうこともあるそうです。さらに詳細な点検は月1回実施しています。タイミングよく点検することは簡単ではないようですが、ハード面においても計画的、時には臨機応変に安全が守られていることが伺えます。

## 【回顧録】

鉄道の安全を守るためには、チームがそれぞれ協力しながら誇りと自覚を持ち役割を遂行していました。当たり前のように見えますが、そこには繰り返しの教育が実施されており、ルールは「安全」を基本にできていることを全員が知っています。自分自身やお客様を守る上でルールは重要であることを理解し、それを守る為に地道な努力をされていました。近年では鉄道の改札が自動化され、駅員さんと触れ合う機会が減りましたが、改めて安心して電車に乗ることができるのは職員の皆さんの「安全」に対するたゆまぬ努力に支えられていると感謝した一日でした。

### 京浜急行電鉄株式会社 安全方針

- ① 安全最優先の意識の徹底を図るとともに、鉄道安全管理規程に基づき、安全確保に全力を傾ける。
- ② お客さまや社会の信頼に応えるため、法令や規程等を順守し、厳正・誠実に業務を遂行する。

京浜急行電鉄（株）の2023 鉄道安全報告書はこちら

<https://www.keikyu.co.jp/company/csr/pdf/safety/2023/all.pdf>

